

陸上十種競技日本記録保持者

# 大崎町に右代選手がやって来た!

野方小学校で陸上教室



陸上教室をとおして  
自分に自信をつけてほしい

10月31日(木)、野方小学校において、陸上十種競技の日本記録保持者である右代啓祐選手を中心とした、トップアスリートらによる陸上教室が開かれました。

陸上教室は、野方小学校全児童67名が参加し、高学年、中学年、低学年に分かれ、速く走る方法についての指導を受けました。

右代選手は「とにかく良い姿勢で走ることがコツです。体をまっすぐにしないと、うまく力が伝わらない。走るときは焼き鳥の串のように体をまっすぐに走ることが大切です。」と話し、実技を交えながら指導されました。

恐田校長先生は、陸上教室をとおして「自分に自信をつけるということに繋がればという狙いがありました。実際に指導を受けている場面を見て、子どもたちに自信がついていると感じました。この陸上教室をとおして、運動することの大切さや体力づくりに繋がっていきたい」と話されました。

子どもたちは真剣な眼差しで楽しみながら陸上教室を受け、選手たちと交流しました。



交流イベントを開催  
右代選手による講演会

陸上教室の同日、セントロ大隅にて右代選手による講演会とトップアスリートらによる交流会が開かれ、町内外から約200名が参加しました。

講演会では、『夢への挑戦』と題して、右代選手の陸上競技への向き合い方や食事面での工夫、メンタルの保ち方などを中心に、目標に向かって頑張ることの大切さなどについて語られました。

交流会では、右代選手には花束が贈呈され、東町長は選手の方々に激励品として、大崎町産の鶏肉を贈呈しました。その後選手たちは、来場者の方々と食事を囲みながら和やかに歓談し、交流を深めました。

